

矢吹第2工場を新設へ

来年6月 竣工予定 3倍以上の大型工場に

天昇電気工業(本社・東京都町田市南町田、石川忠彦社長)は、自社ブランド製品の生産拡大のため、矢吹工場(福島県西白河郡矢吹町)に第2工場を新設する。第2工場の建築総面積は約1万600㎡で、既存工場の3倍以上の大型工場となる。今年6月に着工し、1年後の来年6月に竣工を予定している。投資額は建物、設備を含め約21億円。

天昇電気―生産革新プロジェクトも推進

天昇電気は国内5工場を品が2割を占めている。自があり、高い施工性と貯留有しており、矢吹工場は自社製品としては雨水貯留率を誇っている。また物流社製品を主軸とした生産体制をとっている。新設する医療廃棄物容器などが第2工場では自社ブランド製品の生産拡大を推進し、雨水貯留浸透槽製品で矢吹工場の増強を図る。は、昨年2月に発売した新製品は、

設備にも注力しており、生産革新プロジェクトを推進している。プロジェクトは2018年4月に発足、国内5工場の製造現場に加え、技術、営業を含む若手メンバーを中心とした選抜40〜50名の社員で構成。IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)、RPA(ロボットによる業務の自動化)など先進技術の導入し合理化を進めていく。プロジェクトでは協働のロボットを導入しており、効果が認められれば速やかに矢吹の新設工場を含め、従来1時間程かかっていた全工場に水平展開する。現在30〜40のテーマを進行中。すでに今年1月から工場内で使用できる「協働ロボット」を数台導入し、省人化、品質の安定化を目指している。なお、製品検査工程の画像認識カメラシステムを2018年9月から国内工場に2台導入し、実績を出している。国内での人手不足が深刻になっている中、同社は約2年半で80名程の中途採用を行うなど人材確保にも力を入れている。生産設備では2〜3年で約20億円をかけて最新鋭の射出成形機に更新し強化を図った。油圧式から電動式への更新により、省エネ効果や成形品の品質向上、大きく生産性を改善することで増設と同等の効果が得られたという。天昇電気では工場の増強や生産革新プロジェクトに造メーカーとして、ますます「ものづくり」を強化していく。

―天昇電気の平成31年3月期第3四半期決算―

売上高は前年比13.5%増

先行投資などで利益は減少

天昇電気工業は、このほど平成31年3月期第3四半期連結(30年4月1日〜同年12月31日)決算をまとめ、それによると、売上高は前年同期比13.5%増の131億300万円、営業利益は同26.3%減の7億900万円、経常利益は同21.1%減の7億4,000万円、四半期純利益は同31.8%減の4億3,100万円となった。

天昇電気工業は、このほど平成31年3月期第3四半期連結(30年4月1日〜同年12月31日)決算をまとめ、それによると、売上高は前年同期比13.5%増の131億300万円、営業利益は同26.3%減の7億900万円、経常利益は同21.1%減の7億4,000万円、四半期純利益は同31.8%減の4億3,100万円となった。

同期間における我が国経済は、穏やかな回復基調で推移。一方、世界経済は中国経済の減速等も現れはじ

天昇電気工業は、このほど平成31年3月期第3四半期連結(30年4月1日〜同年12月31日)決算をまとめ、それによると、売上高は前年同期比13.5%増の131億300万円、営業利益は同26.3%減の7億900万円、経常利益は同21.1%減の7億4,000万円、四半期純利益は同31.8%減の4億3,100万円となった。

天昇電気工業は、このほど平成31年3月期第3四半期連結(30年4月1日〜同年12月31日)決算をまとめ、それによると、売上高は前年同期比13.5%増の131億300万円、営業利益は同26.3%減の7億900万円、経常利益は同21.1%減の7億4,000万円、四半期純利益は同31.8%減の4億3,100万円となった。

同期間における我が国経済は、穏やかな回復基調で推移。一方、世界経済は中国経済の減速等も現れはじ

め全工場に水平展開する。現在30〜40のテーマを進行中。すでに今年1月から工場内で使用できる「協働ロボット」を数台導入し、省人化、品質の安定化を目指している。なお、製品検査工程の画像認識カメラシステムを2018年9月から国内工場に2台導入し、実績を出している。

国内での人手不足が深刻になっている中、同社は約2年半で80名程の中途採用を行うなど人材確保にも力を入れている。生産設備では2〜3年で約20億円をかけて最新鋭の射出成形機に更新し強化を図った。油圧式から電動式への更新により、省エネ効果や成形品の品質向上、大きく生産性を改善することで増設と同等の効果が得られたという。

天昇電気では工場の増強や生産革新プロジェクトに造メーカーとして、ますます「ものづくり」を強化していく。

中国成形関連事業

中国成形関連事業では、相模原市、伊賀市、伊那市所

在の賃貸建物及び二本松市

所在の土地から構成されて

おり、売上高は2億2,700万円(同20.7%減)、

セグメント利益は1億7,600万円(同20.7%減)

となった。

不動産関連事業

不動産関連事業では、相

模原市、伊賀市、伊那市所

在の賃貸建物及び二本松市

所在の土地から構成されて

おり、売上高は2億2,700万円(同20.7%減)、

セグメント利益は1億7,600万円(同20.7%減)

となった。

不動産関連事業

不動産関連事業では、相

模原市、伊賀市、伊那市所

在の賃貸建物及び二本松市